

人権意識調査から見えてきたもの

令和5年度日南町民人権意識調査の概要

日南町では、5年に1度、人権意識調査を実施しています。令和5年12月に行った調査結果の一部を紹介します。調査結果を全てご覧になりたい方は、日南町ホームページをご覧になるか、地域振興センター又は人権センターにある冊子をご覧ください。

- (1) 調査対象 18歳以上の住民登録のある全ての住民
- (2) 回答率 32.6%
- (3) 調査の項目・人権全般・習慣・教育・啓発活動・同和問題・男女平等・LGBTの人々の人権・高齢者の人権問題・障がいのある方の人権問題・子どもの人権・日本で暮らしている外国人の人権・個人のプライバシー

調査の結果（抜粋）

①人権全般について

日常生活で、自分自身が人権侵害を受けた経験がある人は、23.3%。他人が人権侵害を受けているのを目撃した人は、42.5%（前回調査と比較して9.5ポイント増加）でした。

	ある	ない
自分自身が受けた経験	23.3%	70.8%
他人が受けているのを目撃	42.5%	57.4%

約2割の人が人権侵害を受け、約4割の人が見聞きしたことになります。この数字は決して少ない数字ではありません。人権侵害を受けながら受けたという自覚のないケースもあります。

人権問題は差別を見抜く力がなければ、気がつかないまま放置されてしまいます。



ポイント

- ★自分自身の人権意識を高めることが必要。
- ★人権問題を学習することで、人権意識を高め、自分自身を守ることができる、という認識を広めていく。

②啓発活動について

過去5年間に人権問題の講演会などについて、「参加したことがない」と答えた人は、40.3%（前回調査と比較して2.4ポイント増加）。その理由として、「忙しくて都合がつかないから」（23.5%）に次いで「そのような会があることを知らなかった」（21.7%）でした。

○講演会などの参加回数 1～4回（38.8%）、5～9回（13.3%）、10回以上（7.4%）
参加したことがない（40.3%）

ポイント

- ★講演会などについて、「会があることを知らなかった」という回答を減らしていくためにも、今後も引き続き様々な機会を利用して、さらなる周知を図っていく。人権問題は日常に深く関係していることから、小地域懇談会を通じて知識や理解を深めるよう啓発する。

